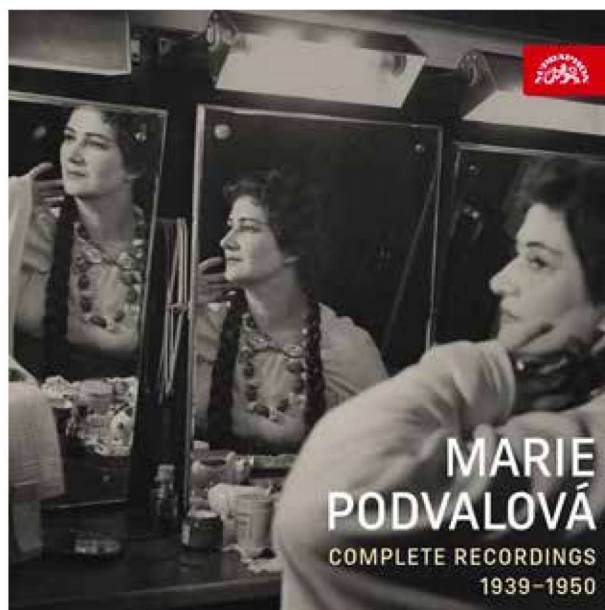


«SUPRAPHON»



**マリエ・ポドゥヴァロヴァー歿後30年記念。
1939年～1950年のスタジオ録音完全収録！
未発表音源を含むポドゥヴァロヴァー全盛期の歌声をお届け！**

SU 4307 (2CD) モノラル AAD 【2022年最新リマスターリング】 2h21'15	『マリエ・ポドゥヴァロヴァー、スタジオ録音全集 (1939-1950) 』 ※曲目詳細は別紙をご覧ください。 マリエ・ポドゥヴァロヴァー (ソプラノ) 録音：1939年-1950年／ブラハ
---	---

★ 20世紀チェコを代表するソプラノ、マリエ・ポドゥヴァロヴァーが2022年に歿後30年を迎えました。ポドゥヴァロヴァーは1937年から1978年までブラハ国立劇場で長いキャリアを積んだオペラ歌手。1938年にはヴァーツラフ・ターリヒ指揮でスメタナの『リブシェ』のリブシェ役、『ダリボル』のミラダ役、『二人のやもめ』のアネシュカ役など眩いばかりの輝きを放った歌声で注目されました。また、ドヴォルザークのオペラ『ルサルカ』やヤナーチェクの『イエヌーファ』などでも印象的な歌声を披露しています。当CDは1939年から1950年にかけてのスタジオ録音全集で初CD化の貴重な内容となっています。なかでも1950年のポドゥヴァロヴァーの最後のスタジオ録音は未発表だっただけに要注目。フィビフの『メッシーナの花嫁』からの一場面でベアトリーチェを歌っています。

★名エンジニア、ヤクブ・ハドラバによる2022年最新リマスターリング。原盤劣化のため一部お聞き苦しい箇所がございますが、非常に貴重な音源の復刻の意義からCD化を決定しました。またブックレットにはポドゥヴァロヴァーの写真に加えディスコグラフィも掲載。資料的価値十分の内容となっています。

CD1

チェコ民族復興期の歌曲

●ヨセフ・オンドジェイ・ノヴォトニー(1778-1856):「広い野原に立つりんごの木」
●ヴァーツラフ・ヨセフ・ローゼンクランツ(1797-1861):「生まれ故郷のボヘミアで」
●ヘジュマン・スクシヴァン(1802-?):「チェコ人は親切な国民です」
ヨセフ・ボフスラフ・フェルステル(ピアノ)
録音:1948年／ブラハ

●ドヴォルザーク:歌劇『ジャコバン党员』より第2幕「わたしたちは外国を彷徨しました」
ヤン・コンスタンチン(バリトン)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1940年／ブラハ

●ドヴォルザーク:歌劇『悪魔とカーチャ』より第3幕「何て館の中は寂しいのかしら」
ブラハ国立劇場管弦楽団、ズデニェク・ハラバラ(指揮)
録音:1941年／ブラハ

●ドヴォルザーク:歌劇『ルサルカ』より第2幕「あなたの瞳には」
インジフ・ブラジチェク(テノール)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1940年／ブラハ

●ドヴォルザーク:歌劇『アルミーダ』より第2幕「おお、心よ、この動悸を静めておくれ」
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1940年／ブラハ

●フィビフ:歌劇『メッシーナの花嫁』より第2幕「そうなのか?...ああ、どうして忘れたのだろうか...」
ブラハ国立劇場管弦楽団、ヤロスラフ・クロムホルツ(指揮)
録音:1950年／ブラハ

●フィビフ:歌劇『メッシーナの花嫁』より第3幕「ドン・セザール!...ざまあみろ!」
マリエ・ボドゥヴァロヴァー(ソプラノ／ペアトリーチェ)
マルタ・クラソヴァー(アルト／ドンナ・イザベラ)
イヴォ・ジーデク(テノール／ドン・セザール)
アントニン・ヴォタヴァ(テノール／ボヘムンド)
ヤロスラフ・ヴェヴェルカ(バス／カエターノ)、カレル・カラシュ(バス／ディエゴ)
ミラダ・イラスコヴァー(ソプラノ／パノシュ)
ブラハ国立劇場合唱団、ヨセフ・チェフ(合唱指揮)
ブラハ国立劇場管弦楽団、ヤロスラフ・クロムホルツ(指揮)
録音:1950年／ブラハ

●フィビフ:『シャルカ』より第2幕「私が美しいというのですか?」
ブラハ国立劇場合唱団、ヤン・マリオ・オウドジェニーク(合唱指揮)
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1944年／ブラハ

●フィビフ:『シャルカ』より第2幕「あなたはなんと美しいでしょう」
ヤロスラフ・グレイフ(テノール)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1942年／ブラハ

●ヤナーチェク:歌劇『イエヌーフア』より第2幕「たまには」
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1941年／ブラハ

●ノヴァーク:歌劇『カルルシュテイン』より第3幕「喉が渇いたわ、私の愛しい人」
ズデニェク・オタヴァ(テノール)
ブラハ国立劇場管弦楽団、フランティšek・シュクヴォル(指揮)
録音:1949年／ブラハ

●ノヴァーク:歌劇『カルルシュテイン』より第3幕「私のカルレ!...私のエリシュコ!」
ズデニェク・オタヴァ(テノール)
ブラハ国立劇場管弦楽団、フランティšek・シュクヴォル(指揮)
録音:1949年／ブラハ

CD2

●スメタナ:歌劇『ダリボル』より第1幕「日が暮れてしまった」*
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1942年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『ダリボル』より第1幕「なんとということでしょう、私の心は嵐に包まれている」
シュテパーンカ・イエリーンコヴァー(ソプラノ)
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1942年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『ダリボル』より第2幕「私はどうすればよいのか?」
ブラハ交響楽団、ズデニェク・フォルブレフト(指揮)
録音:1939年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『ダリボル』より第2幕「私はどうすればよいのか?」
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1945年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『ダリボル』より第2幕「ああ、愛といういいようのない幸せ」
ヤロスラフ・ヤロシュ(テノール)、ブラハ交響楽団、ズデニェク・フォルブレフト(指揮)
録音:1939年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『ダリボル』より第2幕「ああ、愛といういいようのない幸せ」
ヨセフ・オタカル・マサーク(テノール)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1943年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『二人のやもめ』より第1幕「囚われの身となりし我が心よ...」
インジフ・ブラジチェク(テノール)、マリア・タウベロヴァー(ソプラノ)
ルジェク・マンダウス(バス)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1940年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『二人のやもめ』より第2幕「私は一人で支配する」
マリア・タウベロヴァー(ソプラノ)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1941年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『二人のやもめ』より第2幕「ああ、なんと残酷な憎しみが私の心を苦しめるのだろうか」
インジフ・ブラジチェク(テノール)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1940年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『二人のやもめ』より第2幕より「奥様」
インジフ・ブラジチェク(テノール)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1940年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『二人のやもめ』より第2幕「ああ、なんて美しい日なのか」
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1940年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『悪魔の壁』より第3幕「ああ、愛の神よ」
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1943年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『リブシェ』より第1幕「永遠の神々」
ブラハ交響楽団、ズデニェク・フォルブレフト(指揮)
録音:1939年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『リブシェ』より第1幕「永遠の神々」
ブラハ国立劇場管弦楽団、オタカル・イエレミアージュ(指揮)
録音:1945年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『リブシェ』より第1幕「この百姓ども」
ブラハ国立劇場管弦楽団、カレル・ネドバル(指揮)
録音:1947年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『リブシェ』より第3幕「彼来る!」
ブラハ国立劇場管弦楽団、フランティšek・シュクヴォル(指揮)
録音:1949年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『リブシェ』より第3幕「ようこそ、名誉ある花嫁様」
ブラハ国立劇場合唱団、ヤン・マリオ・オウドジェニーク(合唱指揮)
ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1944年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『リブシェ』より第3幕「ねえ、不屈のヴィシェフラドゥ(高い城)」
スタニスラフ・ムジュ(バリトン)、ブラハ国立劇場管弦楽団、ルドルフ・ヴァサータ(指揮)
録音:1944年／ブラハ

●スメタナ:歌劇『リブシェ』より第3幕「強力な神々」
マリエ・ボドゥヴァロヴァー(ソプラノ／リブシェ)、ヤルミラ・マラー(ソプラノ／クラサヴァ)
マルタ・クラソヴァー(アルト／ラドゥミラ)、ヨセフ・ヴォイタ(テノール／シュチャーフラフ)
ヨセフ・クジカヴァ(ラドヴァン)、ヤロスラフ・ヴェヴェルカ(ルトボル)
ブラハ国立劇場合唱団、ヤン・マリオ・オウドジェニーク(合唱指揮)
ブラハ国立劇場管弦楽団、オタカル・イエレミアージュ(指揮)
録音:1945年／ブラハ

*＝原盤劣化が激しく一部お聞き苦しい箇所がございます。